6 研究全体構想図

令和7年度7月29日(月)時点

第7次山形県 教育振興計画

第2次寒河江市教育振興計画

接続可能な

開発目標

学校教育目標

心豊かで、よく学び、たくましい子どもの育成

多様性を認め、

協働できる やさしい子

人を大切にする力 (尊重) 自ら考え、

進んで学ぶ かしこい子

考え、行動する力 (自律・創造) 心も体も健康で ねばり強い

たくましい子

やりぬく力 (挑戦) 子どもの実態 家庭・地域

教師の願い

研究主題 自ら学びを創る子どもの育成(4年次)



【視点1】

他者との対話を通し、自らの考 えを広げ深める力を育む手立て

- ・対話をしやすい環境づくり
- →グループやペアを作り、必要に応じていつでも聴き合える環境を整える。
- ・<u>「わからない」ということへの</u> 価値付け
- →「わからなさ」は学びの始まりであり、そこから対話が生まれる。 「わからない」ことを友達に伝えらえられる雰囲気を作っていく。
- ・タブレットの活用
- →他者の考えを自分の考えと比べ たり、他者の考えについて聴き合 ったりできるようにする。(※今 後も更に研究していく必要あ り。)

_______ 【視点2】

自分に合う学習方法や工夫を選択・決定して学びを深める力を 育む手立て

- ・学習形態の選択・決定
- →「自分一人で」「友達と一緒に」「教師 と一緒に」から必要に応じて選択・決 定できるようにする。
- ・解決方法の選択・決定
- →位取り表や式、言葉など解決方法を選 択・決定できるようにする。
- →既習事項から解決方法を選択・決定で きるように教室の掲示環境を整える。

【視点3】

目標や見通しを考えて粘り強く 取り組み、自己の学習活動を振 り返って次につなげる力を育む 手立て

- ・<u>単元全体の学習の見通しを</u> 子どもと共有
- →「学びのプラン」の活用 ⇒学習計画、身に付けたい力、振り 返りの視点等を子どもと共有する。

研究の土台となるもの

*ブロックごとの、つけたい資質・能力の設定と評価 *カリキュラムマネジメント